

## 子どもの貧困対策に関する具体的取組【新規】

事業名	視点(下記1～7から選択) 1. 困窮している世帯を経済的に支援 2. 学びを支える環境づくりを支援 3. 子どもたちが孤立しないように支援 4. 保護者が孤立しないように支援 5. 安心して子育てできる環境を整備 6. 健康づくりを支援 7. オール大阪での取組み	概要	H30年度 予算 (千円)	H30年度の進捗状況(H31.1月末時点) 及び取組予定	平成31 年度当 初予算 案(千 円)	担当課
キャリア教育推進 モデル事業	2. 学びを支える環境づくりを支援	・社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことを促すために教育的働きかけを実践する学校教育におけるキャリア教育の開発を行い、すべての児童生徒が自己有用感を高めることができるようなキャリア教育のモデルプランを普及させる。	-	-	1,200	小中学 校課
家庭教育力向上 事業	2. 学びを支える環境づくりを支援	・子どもの「非認知能力」育成に向け、その土台が形成される乳幼児家庭の教育力向上を図るため、市町村において「非認知能力」に関わる講座や研修づくりとそれを実施できる人材の養成及び「非認知能力」育成のポイント記した啓発資料(保護者向けリーフレット・ワークショップ等で使用する親学習教材)を作成	-	-	1,361	地域教 育振興 課
青少年自立支援 事業	3. 子どもたちが孤立しないように支援	・社会生活を円滑に営む上での様々な困難を有する青少年への支援が地域で適切に行われるよう、市町村や民間団体等と連携したネットワークの構築を推進し、青少年が自立できる社会づくりに取り組む。 ・ひきこもりサポーター養成研修(H31ひきこもり支援に携わる人材の養成研修)の開催や青少年スキルアップサポートモデル事業を実施する。	2,512	・ひきこもりサポーター養成研修 5回開催(H31.2～3月) ・青少年スキルアップサポートモデル 事業 1団体に補助し、ひきこもり等青少 年に対して、インターン・アルバイト支 援を実施。	2,300	青少年 課
少年サポートセン ター等における立 ち直り支援事業	3. 子どもたちが孤立しないように支援	・補導された少年、子ども家庭センターや学校から紹介を受けた少年に対して、学校や保護者と連携を図りながら、体験活動を通じた支援を実施し、少年の立ち直りや再非行防止を推進する。	57,013	・体験活動を通じた立ち直り支援 事業回数:1,551回	57,276	青少年 課